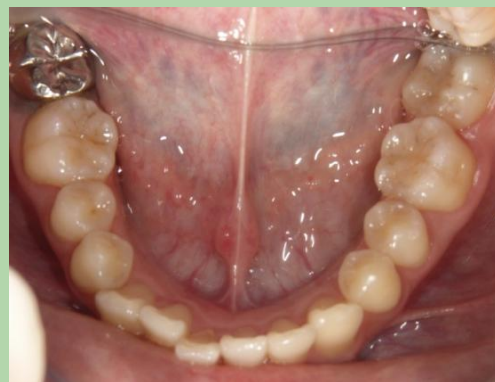




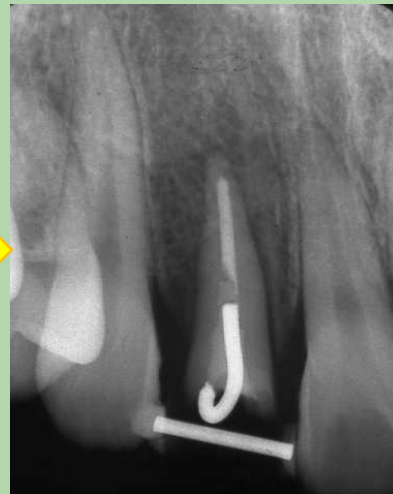
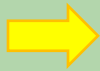
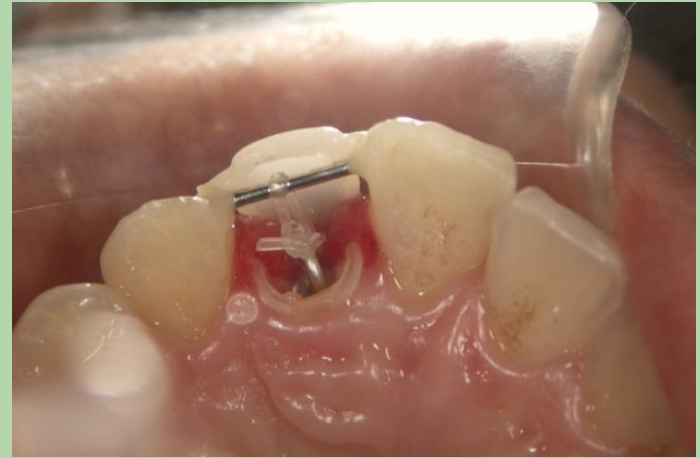
GBRもメンブレンも使わずに
インプラントを埋入する為には

症例提供：吉武 裕司先生

症例



症例



エラスティックで挺出
約3ヶ月の挺出後、約2ヶ月放置します。

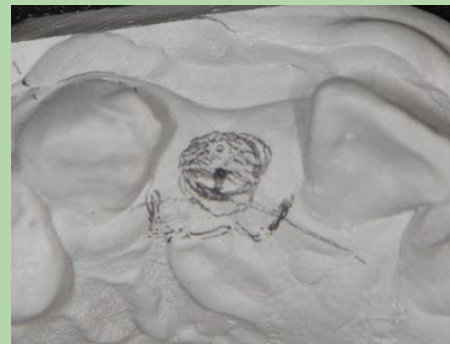
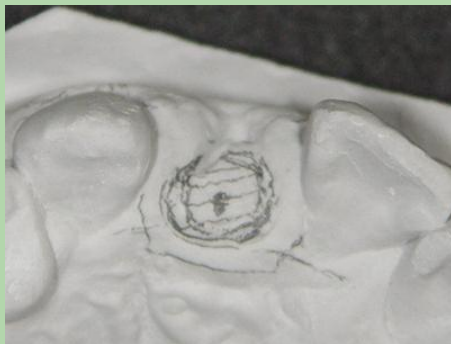
症例



抜歯時に歯槽骨の形状を確認しておきます。

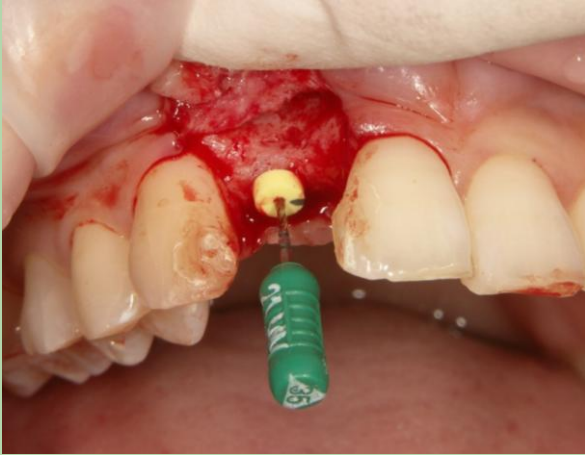


抜歯後約2ヶ月



避けられない骨吸収

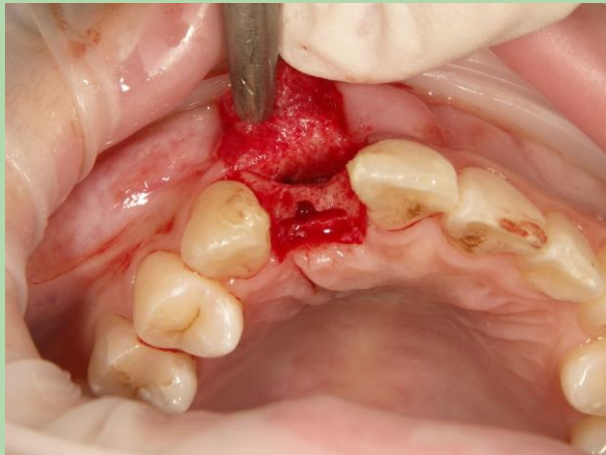
症例



リーミング

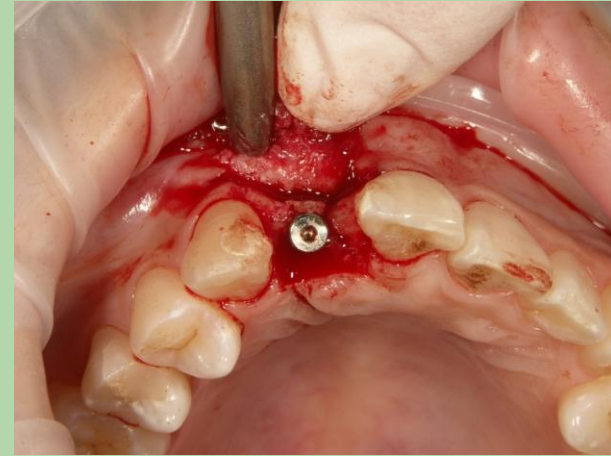
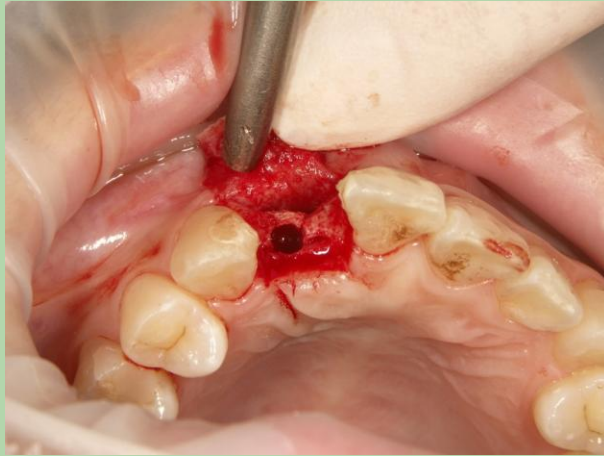


前歯部用で方向を確認しながら拡大

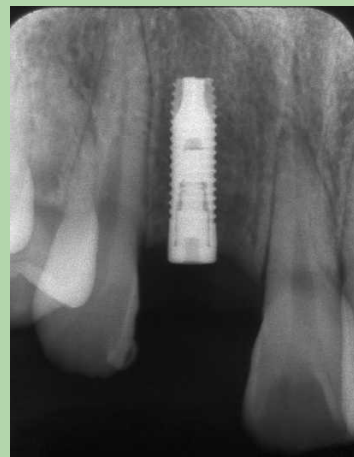
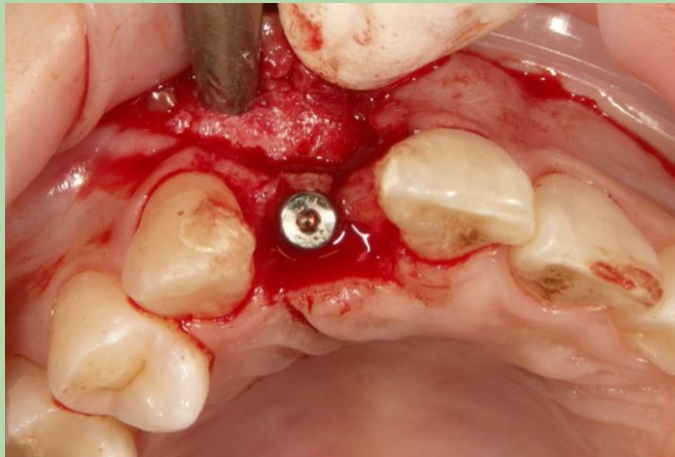


Ωシェープのスリッティングを施します。目的は唇側に骨量を稼ぐため、口蓋側に溝を形成します。溝にはボーンスリッター（直）4.0mmを用いてスリッティング。その後、オーギュメーターで拡大します。

症例



やや裂開しましたが、遊離していなければ問題は無いと考えられます。



埋入後の状態から観察しても、血餅に満たされていれば骨が再生します。
プロビジョナリー装着（右）。